

私のすすめるこの1冊

深尾 武史（数学科 准教授）

『個性を引き出すスポーツトレーニング』

立花 龍司著

7年前になりますが、「武道やスポーツにおいて、心・技・体の重要性がよく言われるが、心・技・体・眼、つまり動体視力などと言われる目の力も加えて重要である」というような内容から始まる立花氏の講演を聞く機会がありました。私はスポーツを科学的に見ることの重要性を何となく感じ、興味を持っていましたが、実際にプロスポーツの世界に身を置いている立花氏の講演に夢中になった記憶があります。私はいわゆる理系の人間であるからなのか、何事にもまず否定的な見方をし、すぐに理屈を追ってしまういやな性格です。しかし、そのような私ですら過去に部活動の顧問をしていた頃、強くなるには理屈よりも気持ちの問題の方が大きいと考えることが少なくありませんでした。自身の学生時代に経験した部活動でもそうでしたが、いわゆる強豪校の監督には試合中に厳しく選手を怒鳴り散らす監督が多かったように思います。2002年のサッカーワールドカップ日本代表の監督がそうであったように、監督が選手にとって憎き鬼役になり、チームを一つにまとめる手法はどの種のスポーツにも少なからずあることだと思いますし、その手法を否定するつもりもありません。実際、私は7年前にこの本を読んだ頃、著者の言う理想的なコーチを目指して選手に接しようと考えていましたが、勝つために自分ができることを追求していくなかで、徐々に厳しさを重視するようになり、チームは強くなっていくけれど、監督の指示が主体の厳しい練習について行けなくなった選手が一人、また一人離れていく

という苦い経験もしました。今回、私がすすめるこの1冊を選ぶにあたり、7年ぶりにこの本を手にとってみると、「練習は量より質」「積極性の生み出し方」など、ずっと大切にしていた哲学もあれば、「納得しなくてもはいといえる体質」「叱ると怒るの違い」など、その苦い経験を思い出させる内容もありました。この本にはスポーツにおけるプレーヤーとコーチの理想的な関係やプロ野球におけるいくつかの興味深い逸話が紹介されています。また、スポーツに限らず何かに取り組む際の積極性に関することも分かりやすく紹介されています。

「今から象のことを考えないでください」と言われたら「象」という単語が頭に残り、かえって象が思い浮かんでしまうけれど、「虎のことを考えてください」と言われたら、虎のことを必死に思い浮かべることで、象のイメージはいつの間にか薄れていきます。

ちょっとした工夫ですが、教育現場でいろいろな応用が考えられる立花氏の小話です。将来、運動系部活動の顧問をしてみたいと考えている皆さんだけでなく、教員志望の皆さん全員におすすめしたい1冊です。

『個性を引き出すスポーツトレーニング』

(岩波アクティブ新書 17)

立花龍司著 発行者:岩波書店

発行年: 2002年 ISBN: 9784007000171

購入手続き中

◆ ◆ ◆ 秋のイベント紹介 ◆ ◆ ◆



第17回 「うたとおはなしの会」



【日時】平成23年11月3日(木・祝)

【時間】11:00～12:00

【場所】幼児教育演習室

【対象】幼児(3～6歳ぐらい)と保護者
0～2歳児も大歓迎

【参加費】無料



赤や黄色の木の葉に秋を感じる頃となりました。今回、「うたとおはなしの会」では、「芸術の秋」「読書の秋」にちなんで、秋を満喫できる歌やお話をたくさん用意しました。「文化の日」のひととき、親子でたっぷり楽しみましょう。

第16回 教科書展

中等教育用教科書(家庭科編)ー教科書からみた家庭科の戦後史ー

【日程】平成23年11月8日(火)～11月28日(月)

※20(日)、23(水・祝日)、26(土・入試)、27(日)は休館。

但し、13(日)は藤陵祭のため教科書展のみ開催いたします。

【時間】10:00～16:00

【場所】京都教育大学附属図書館 1階ロビー



展示の詳細は11月号でもお伝えします。ぜひお越しください!

図書館からのお知らせ

ミニ企画展 「原発問題と再生可能エネルギー」

3月の福島原子力発電所の事故、およびその後のエネルギー問題についての議論の高まりを受けて、世間では多くの新刊書が緊急出版され、新聞・テレビ・インターネット等でも日々情報が流れていきます。

しかし、あふれかえる情報の中で私たちは一体何を知り、どのように考えていくべきなのでしょう。その答えの一助となるよう「今、学生に読んでほしい図書」を先生からご推薦いただき、ミニコーナーを設置しました。ぜひ手にとってご覧ください。

論文検索・収集法講座を開催します

雑誌に掲載された論文を専用のデータベースで検索する方法や、目的の論文を手に入れる方法を、パソコンを使いながら身につけてもらう実習型の「論文検索・収集法講座」を開催します。

希望者には、図書館内で雑誌を探して論文を手に入れるまでを体験する、探索実習オプションも追加できます。 ※2011年5月・6月に実施した講座と同一内容です。

場所：京都教育大学附属図書館

所要時間：約60分（探索実習オプションをつけない場合、説明のみで約30分）

申込方法：申込書、またはメール（氏名・希望日時を明記の上、library@kyokyo-u.ac.jpまで）

日時：下記のとおり

開催月日		時間と講座種類	時間と講座種類
10月24日	月	国内編 11:00～	海外編 15:00～
10月25日	火	国内編 11:00～	海外編 15:00～
10月26日	水	国内編 11:00～	海外編 15:00～
10月27日	木	国内編 11:00～	海外編 15:00～
10月28日	金	国内編 11:00～	海外編 15:00～
11月14日	月	海外編 11:00～	国内編 15:00～
11月15日	火	海外編 11:00～	国内編 15:00～
11月16日	水	海外編 11:00～	国内編 15:00～
11月17日	木	海外編 11:00～	国内編 15:00～
11月18日	金	海外編 11:00～	国内編 15:00～

詳細については、附属図書館のホームページをご確認ください。

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/course/search-and-collect2011.html>

製本中の雑誌があります

現在、一部の雑誌について、複数の巻号をまとめて合冊する製本作業を行っています。

2010年度を中心に、利用できない巻号がありますのでご注意ください。

製本中かどうかは、OPACで確認することもできます。詳しくは職員にお尋ねください。

～ 図書館開館スケジュール ～

2011年 10月

日	月	火	水	木	金	土
						▲
2	3	4	5	6	7	8
休	●	●	●	●	●	▲
9	10	11	12	13	14	15
休	休	●	●	●	●	▲
16	17	18	19	20	21	22
休	●	●	●	●	●	▲
23	24	25	26	27	28	29
休	●	●	●	●	●	▲
30	31					
休	●					

2011年 11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		●	休	休	●	▲
6	7	8	9	10	11	12
休	●	●	●	●	●	▲
13	14	15	16	17	18	19
休	●	●	●	●	●	▲
20	21	22	23	24	25	26
休	●	●	休	●	●	休
27	28	29	30			
休	●	●	●			

<カレンダーの見方>

日付	9:00～21:00
●	
日付	9:00～17:00
▲	
日付	休館日
休	

11月2日(水)は館内整理日のため休館

11月26日(土)は推薦入試のため休館

夏季休業に伴う長期貸出の返却期限日は10月4日(火)です。忘れず返却してください!

指導要録の変遷と教育評価の課題

—1980年代以降に焦点をあてて—

藤岡秀樹

藤岡秀樹 (教育学科 教授)

京都教育大学紀要 No.118 pp.107-123. 平成23年3月

指導要録は、学校における指導の過程や指導の結果などを記載し、指導の引き継ぎに活かすための資料で、学校教育法施行規則第28条で幼稚園から高等学校までの各学校に備え付けなければならない表簿の1つです。本稿では、指導要録(1948年に最初に作成されたものは「学籍簿」と呼ばれた)の変遷を振り返り、記載内容や評価方法、学習指導要領との関連について、特に1980年代以降に焦点をあてて分析しました。1991年版、2001年版、2010年版の中学校生徒指導要録の「指導の記録」の様式を掲載しました。

学習指導要領は、概ね10年に一度改訂がされますが、指導要録もそれに対応して改訂されます。「教科学習の記録」の評価方法が、相対評価から「絶対評価を加味した相対評価」へ、そして2001年版指導要録では、「目標に準拠した評価(いわゆる絶対評価)」に転換されました。各評価段階の配分比率が確定している相対評価が非教育的(子どもの努力の跡が反映されない)であるという指摘を受け、改善されたものです。「目標に準拠した評価」を行うためには、適切な評価規準と評価基準を作成しなければならず、教材分析の重視と評価技法の検討が求められます。また、1991年版指導要録から、「観点別学習状況」欄が「評定」欄よりも前に配置されるようになりました。このことは、子どもを総合的に評価するよりも分析的に評価することが重視されるようになったことを意味します。このような指導要録における教育評価の改善の動向は、「指導と評価の一体化」と結びつくものです。

指導要録の記載事項は、高等学校入試の調査書にも用いられます。また、情報開示の流れとともに、指導要録の開示も行われています。それゆえに、妥当性と信頼性のある適切な評価が行われることが期待されるものです。

なお、特別支援学校の指導要録の変遷について、1990年代以降を中心にまとめた論考を『京都教育大学特別支援教育臨床実践センター年報』(第1号, pp.91-104, 2011)にまとめてみました。併せてお読み頂ければ幸いです。

本タイトルの論文は京都教育大学紀要118号に掲載されています。

後日、京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開予定です。

●京都教育大学附属図書館ホームページはこちらから <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページはこちらから

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

右記のQRコードからも
アクセスできます



京教図書館 News No.133 (2011年10月号)

発行日:平成23年10月3日

編集発行:京都教育大学附属図書館

内容に関するお問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp



京都教育大学